



SCIENCE
NO 1



Ajile Flottant

アジール・フロッタン再生展



2017.8.5(SAT) - 8.22(TUE) ASJ TOKYO CELL

—浮かぶ避難所 ル・コルビュジエが見た争乱・難民・抵抗—

知られざるル・コルビュジエのプロジェクトが、パリのセーヌ川に浮かんでいる。世界救世軍の依頼により設計し、船を改造した『アジール・フロッタン』(浮かぶ避難所)だ。これは第1次世界大戦の混乱によって生じた女性の難民を収容すべく、1929年に完成したものである。もともと鉄ではなく、コンクリート造の石炭を運ぶ船だったが、箱型の船体に柱と屋根・水平窓を増築し、船が建築としてリノベーションされた。客船を近代建築の理想的なモデルと考えていたル・コルビュジエが、ここでは船をモダニズムに改造したのである。アジール・フロッタンは、今もノートルダム大聖堂から上流1キロの左岸に係留されているが、老朽化により建築としての機能を失っていた。しかし、2005年からミシェル・カンタル=デュパール氏ら5名の有志によって修復工事を実施、さらに今秋に日本から桟橋を寄贈し、2018年からギャラリー機能をもった建築として再生される。この新しい船出を祝して、ル・コルビュジエ財団から提供された完成当時の資料、設計のスタディ、現在の写真・映像、模型などを用いて、アジール・フロッタンを紹介する。

五十嵐 太郎



Web / www.asilefrottant.net

2017

Asile Frottant

■トークイベント

2017年8月19日 (SAT)

18:00 - 19:00

ASJ TOKYO CELL

『アジール・フロッタン 2018』

五十嵐太郎 × 遠藤秀平 × マニュエル・タルディイツ

ASJ TOKYO CELL

10:00-19:00

千代田区丸の内3-4-2

新日石ビル1F

TEL / 0120-35-3159

Tel / 03-6206-3159

Web / www.asj-net.com

主催: 株式会社遠藤秀平建築研究所 共催: アーキテクツ・スタジオ・ジャパン株式会社 企画: アジール・フロッタン再生展実行委員会
プロデューサー: 遠藤秀平 キュレーター: 五十嵐太郎 特別展示: ホンマタカシ 写真: スターリン・エルメンドルフ 展示グラフィック: 辰巳明久
展示コーディネーター: 西尾圭悟 会場構成: 株式会社遠藤秀平建築研究所 / 村里愛美 助成: 公益財団法人ユニオン造形文化財団
後援: 一般社団法人日本建築設計学会 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

特別協力: Fondation Le Corbusier 株式会社アロイ 神戸大学遠藤秀平研究室 企画協力: 古賀順子 前田宏 マニュエル・タルディイツ
協力: NPO/AAF イスナデザイン 京都市立芸術大学辰巳明久研究室 株式会社栗山化成工業所 笹川日仏財団 大成建設ギャルリー・タイセイ
株式会社タケウチ建設 株式会社浜島化成 森美術館 八十島プロシード株式会社

協賛: 株式会社TYING YKK AP株式会社 窓研究所 株式会社エイダブリューエンジニアリング 株式会社カッシーナ・イクスシー
グラフィックソフトジャパン株式会社 株式会社サンゲツ フォルボ・フロアリング B.V.



■連携イベント

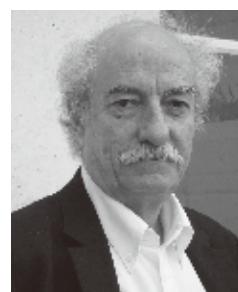
2017年8月4日 (FRI) 17:30 - 20:00

東京国際フォーラム ガラス棟 5F 会議室 G502

第一部 記念講演 ミシェル・カンタル=デュパール

第二部 シンポジウム 五十嵐太郎 × 佐藤知久 × 遠藤秀平

主催: 一般社団法人日本建築設計学会
助成: 笹川日仏財団



ミシェル・カンタル=デュパール

都市計画建築家

フランス国立工芸院 (CNAM) 名誉教授

都市の未来学や都市分析から公共スペースの設計に至るまでの都市戦略を専門とする。「救世軍」の依頼を受けて、ル・コルビュジエが改造したコンクリート船「アジール・フロッタン」の修復(フランス・ケルテキアンらと2005年開始)を行っている。「アジール・フロッタン」はフランスで文化財の指定を受けた唯一の船である。